

イブニング サロンNEWS

2007 7/1 第6号
(年6回発行)

イブニングサロン公式サイト
<http://www.otacci.or.jp/commons/evening.htm>

発行
「イブニングサロンNEWS」を発行する会
(事務局・東方通信社)
TEL:03-3518-8844

お菓子から緑化技術まで 生活を豊かにする技術・アイテムが集合!!

7月2日(月)、第15回目の「新都心イブニングサロン」が行われる。今回のテーマは「生活関連産業」。身近なスナック菓子、洋菓子から環境に配慮した印刷技術や緑化技術までサロンに集合する。あわせて紹介したい。どれも今後が楽しみな企業、大学ばかりである。

時代は変わっても 変わらないカルビーマインド

カルビー(株)

カルビーが販売する「かつばえびせん」や「ポテトチップス」は、子どもから大人まで多くの人に愛されており、国民的なスナック菓子といえる。なかでも「かつばえびせん」は、1964年に発売して以来、40年以上にわたって親しまれ、今なお



超ロングセラーのスナック菓子「かつばえびせん」ほとんどの人が口にしているはず

年間100億円の売上を維持しているロングセラー商品。

ただ、同社で長年にわたって商品開発を手掛けてきたカルビー・R&D DEセンター長の阿部秀雄氏は

「このままのやり方を続けていけば、これ以上の飛躍は望めない」と危機感を抱いている。そこには、少子高齢化、揺らぐ食への安全、食育、分散する消費者ニーズなどなど、従来の戦略では激変する社会環境に対応しきれなくなっているという。

「何を変えていくか、何を守っていくかを検証しながら商品開発を展開しなければなりません。とくに大衆のニーズばかりを狙わずに、小さなニーズにも集中して耳を傾けていきます」と阿部氏は話している。

その一方で、「どんなに時代は変わっても、お客様がほしいものをつく

っていくことは変わりません」とも。かつて、カルビーの創業者である松尾孝氏(故人)は、おいしくて健康にいい食品をどこでも食べられるようにと願い、それが「かつばえびせん」の開発につながったという。このマインドが、同社のブランド力を保っているのだろ。

<http://www.calbee.co.jp/index.php>



こちらも国民的なスナック菓子の「ポテトチップス」

お菓子と地域への思いが結実した 「花園フォレスト」が誕生する!!

(株) シェリエ

86年の創業以来、バウムクーヘンなどを主力商品として、業績を伸ばしてきたシェリエは、今大きな夢を実現させようとしている。それが、来年の2月6日にオープンを予定している「花園フォレスト」だ。現在、埼玉県花園インター近くにある6000坪強の敷地に900坪の庭園や果樹園、工場と店舗が一体となった迷床1400坪の施設を整備している。

会社はこの施設について「安心な素材を使い、ゆったりとした時間を提供していくのが、コンセプト。高橋博社長が抱いているお菓子や地域、お客さんへの思いが結集した施設といえます」と話している。

店舗は貸しテナントではなく、すべて自社で運営し和菓子も販売する。厨房はガラス張りになっており、お菓子を作っている様子を見ることが出来る。食べるだけでなく、1日いても飽きない工夫が全体に行き渡っているという。また「従業員は地元から100人ほど雇用します。地域おこしにひと役買えれば嬉しい」とも。

この地域には、すでに直売所や道の駅があり、年間80万人が訪れるというスポット。「花園フォレスト」オープン後は、国内でも有数の観光スポットになることは間違いない。



主力商品のバウムクーヘン

〒367 0213
埼玉県本庄市児玉町秋山
2683 1
☎0495 72 0933
<http://www.cherier.co.jp/>

環境対策と技術に自信のある 山形発の印刷会社

精英堂印刷(株)

精英堂印刷はパッケージ印刷分野において日本で初めて「水なし印刷」に成功した印刷会社。近年、「水なし印刷」は環境にやさしい印刷方式として注目を集めている。

水を使わない「水なし印刷」にはいくつかのメリットがある。まず、印刷の仕上がりがクリア。従来のオフセット印刷では、水と油(インク)の境界線がぼやけてしまう難点があったが、「水なし印刷」ではインクのまわりに何もないので、仕上がりがクッキリするという。

また、従来の印刷方法では、製版するときに強アルカリ性の溶液を使用するため、使用後は産業廃棄物と

して処理するしかなかった。他にも印刷のときに水の状態を管理するため酸性の溶液を使うことから、排水処理も必要になる。こうした廃棄物の発生や後処理の必要が無いことも「水なし印刷」のメリットだ。

「水なし印刷」は、すでに30年前には登場していたが、インクや機械が対応していなかったため、普及しなかった。近年、ようやく「水なし印刷協会」の発足や、専用のインクが開発されたことで少しずつ普及しているという。

同社の鈴木高明社長は、「この分野では先駆者としての自信がある。また、環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証も取得しており、環境対策と技術に優れた印刷会社としてアピールしていきたい」と話している。山形から世界への飛躍を期待したい。



技術に自信のある鈴木社長と会社に活躍する機械

〒992 1128 山形県米沢市
八幡原1 1 16
☎0238 28 2211
<http://www.seieido.co.jp/>

壁面緑化、環境対策に威力を発揮する フラワーマット

群馬大学工学研究科 鶴飼恵三教授

壁面緑化、景観、環境対策をひとつでできる人工花壇、それが「フラワーマット」だ。これは農林水産省の研究高度化事業で東京都が中心になって開発したものだ。土壌を廃杉皮チップ、杉炭、ピートモスなどから成る有機土壌で置き換えた点に特徴がある。

この人工土壌の研究を行っているのが群馬大学工学研究科の鶴飼恵三教授。鶴飼教授は「この有機性人工土壌には微生物菌、肥料等も入っています。水を加えると粘り気が出て、マットを傾けても土壌の形は長期間くずれません。そのため壁面緑化に最適なのです」と話す。しかも、環境対策にも役立つという。おかげで、



鶴飼教授の研究ははやくも実用化が期待されている



フラワーマットによって壁面緑化がカンタンに

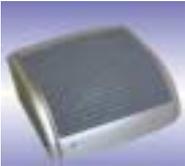
これまで産業廃棄物だった杉の皮を再利用できるようにしました。また、フラワーマットも可燃性なので簡単に廃棄できます」と。

このマットはさつそく実用化に向けて動き出しており、今年の4月21日に群馬県桐生市で開催されたアイステアで登場した。30社のキレイな花で彩られた壁面に来場者たちは目を奪われていたという。翌日からは商店街に移動され、街を飾った。今後の環境対策、景観対策に威力を発揮するアイテムになりそうだ。

〒376 8515
群馬県桐生市天神町1 5 1
☎0277 30 1601
http://geotech.ce.
gunma-u.ac.jp/ ugai

快適なカーライフを実現する酸素濃縮器

(株) ICST 代表取締役・横井博之氏



コンパクトでも威力はバツグンの酸素濃縮機

同社が開発した『NOZOMI CarO2』は、日本で初めての本格的車載用酸素濃縮器。クルマに設置できるほどのコンパクトサイズながら、酸素濃度28と一般の酸素濃縮器と変わらない効果を実現している。社長は「車内の空気がキレイになれば、疲れや眠気がとれます。安全運転に役立ちます」と話している。価格は9万4800円。

〒330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町2-9-16
MIO北浦和102
☎048-813-8126 http://www.icst.jp/index-jp.html

食と健康のテーマパーク

(株) 埼玉種畜牧場サイボクハム・笹崎雅弘氏



人だにぎわうサイボクハム

1946年に、種豚の育種改良を目指し牧場をスタート。それ以後は、種豚と肉豚の生産、和牛飼育も行い、さらには自社牧場産の原料を使ったハム・ソーセージの加工、販売部門、パン工房、レストランまで展開。今では温泉施設「まきばの湯」も加わり、食と健康のテーマパークとして、さまざまな人たちから愛されている。

〒350-1221 埼玉県日高市下大谷沢546
☎042-989-2221 http://www.saiboku.co.jp//

グッドデザインぐまに選定された特許製品

(有) アイ・ディ 代表取締役・石川神兵氏



ガラス強化の新アイテム

窓ガラスの結露や日差し、すきま風や騒音に困っている向きにオススメなのが、「スリム・ペアE」。これは既存のサッシにそのまま取り付けられる特殊フィルムで、赤外線や紫外線をカットし、電磁波や害虫までシャットしてくれる。また、フィルムがラミネートしてあるため、ガラスが割れても飛散しない効果も。「グッドデザインぐま」に選定された特許製品。

〒373-0036 群馬県太田市由良町1584-35
☎0276-32-1366 http://ai-dei.jp

埼玉県ナンバー1のポータルサイトを運営

(株)イーシティ埼玉 取締役会長・村重嘉文氏



埼玉県ナンバー1のポータルサイト

同社は、埼玉県の情報サイト「イーシティさいたま」を運営している。このサイトは、埼玉県のあらゆることを掲載しており、まさに埼玉ナンバー1のポータルサイトといえる。県内で上映されている映画館、人気のレストラン、ショップなどを調べると

きに便利。また企業や学校の情報もあるのでビジネスにも役に立つ。
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-17-15
さいたま商工会議所会館7F
☎048-710-6610 http://www.ecity.ne.jp/

自社商品 アピールコーナー

イブニングサロンでは毎回、自社商品をアピールするコーナーを設けています。今回は4社が自慢の商品をプレゼンテーションします。

東北の目玉産業になるか!?

「組込みシステム特論」

「組込みシステム」の技術者養成を目指して開講されている新セミナーが、7月にも3都市で開かれる。東北地域の目玉になるか注目されている。

前号でもお伝えした「組込みシステム特論」が6月にはじまり、東北地域のモノづくりの目玉として注目されはじめています。このセミナーは、山形大学が会津大学、

とうほく組込み産業クラスと提携してスタートしたものです。組込みシステムの技術者を養成し、東北企業の技術力アップを目指している。

7月は、7日(土)に山形大学工学部(米沢市)で、14日(土)にヤマコーホール(山形市)で、21日(土)にNECソフトウェア東北(仙台市)で開催される。主に山形大学や会津大学が持つてい

るシーズを紹介したり、自動車分野の通信プロトコルを例に組込みシステムのことを学んでいく。

山形大学の野長瀬裕二教授は「大学だけでなく、組込みシステムに強い企業の技術者たちが直接講義をします。東北地域を組込みシステムの先端地域にしていきたい」と話している。なお最終日の21日には「とうほくイブニングサロン」を行い締めくくる予定。

http://www.ettokoku.jp/task/task_jinzai_special.htm

サロン公式サイトにニュース創刊号をアップ

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第5号までアップしていますので、ご覧下さい。



今後引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思えます。新商品や新技術の開発や産学連携事業の開始といった新情報からご意見・ご要望までふってご寄せください。

新都心イブニングサロン公式サイト
<http://www.otacci.or.jp/commons/evening.htm>
東方通信社サイト
<http://www.tohopress.com>
問合せ：03-3518-8844 担当：滝口
e-mail：ryot@tohopress.com

月刊『コロパス』が元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロパス』(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元元気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。



「コロパス」

問合せ：東方通信社 月刊『コロパス』編集部 TEL：03-3518-8844

イブニングサロンの主な世話人

江田元之(財)さいたま市産業創造財団・理事長/星野弘志 埼玉県労働工部新産業育成課・課長/村重嘉文(株)イーシティ埼玉・取締役会長/野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授/浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

主な企画運営委員

山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長/江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局局長/古川猛 月刊『コロパス』編集長(東方通信社)/根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長/柴田孝・米沢BNO副代表

福祉ロボットでビジネスチャンスを掴め!!

ポスト自動車産業として注目されているロボット産業。埼玉県にはロボット関連の企業や大学も多く、産学連携による新技術の誕生が期待されている。そんな中、「福祉・医療分野における『次世代ロボット』セミナー」(主催は産学連携支援センター埼玉)が、7月19日(木)15時~17時、新都心ビジネス交流プラザ4Fで開催される。福祉ロボットをテーマに埼玉県内の「ものづくり企業」と大学研究者とのマッチングを目指す。なお、今回紹介される大学シーズは以下の4つ。

「ヒューマンアシストロボットの開発」(電気通信大学地域・産学官連携推進機構、産学官等連携推進本部リエゾン部門、准教授・田口幹氏)。

「空気式パラレルマニピュレータを用いた福祉支援ロボットの開発」(岡山大学大学院自然科学研究科、准教授・高岩昌弘氏)。

「介護者用パワー・アシスト・スーツの開発」(神奈川工科大学工学部ロボット・メカトロニクス学科、教授・山本圭治郎氏)。

「福祉ロボットのための安全技術の開発」(立命館大理工学部ロボティクス学科、教授・手嶋教之氏)。

参加費は無料。18時からは交流会(会費は1000円)もある。ロボットでビジネスチャンスをつかみたい向きに最適のセミナーではないだろうか。

問合せ：産学連携支援センター埼玉
：048-857-3901
<http://www.saitama-j.or.jp/sangaku/>



詳細はサイトにて



実用化が期待される福祉ロボット